

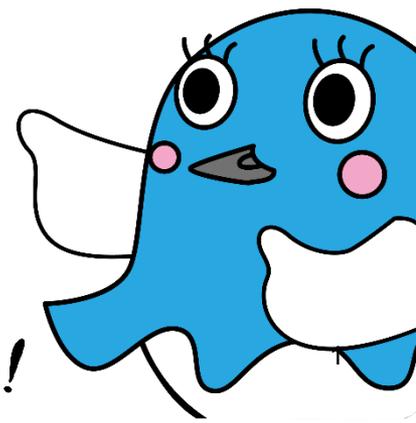
# 2018年3月期 決算説明会

## 株式会社FUJI

2018年5月

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

# 業績説明

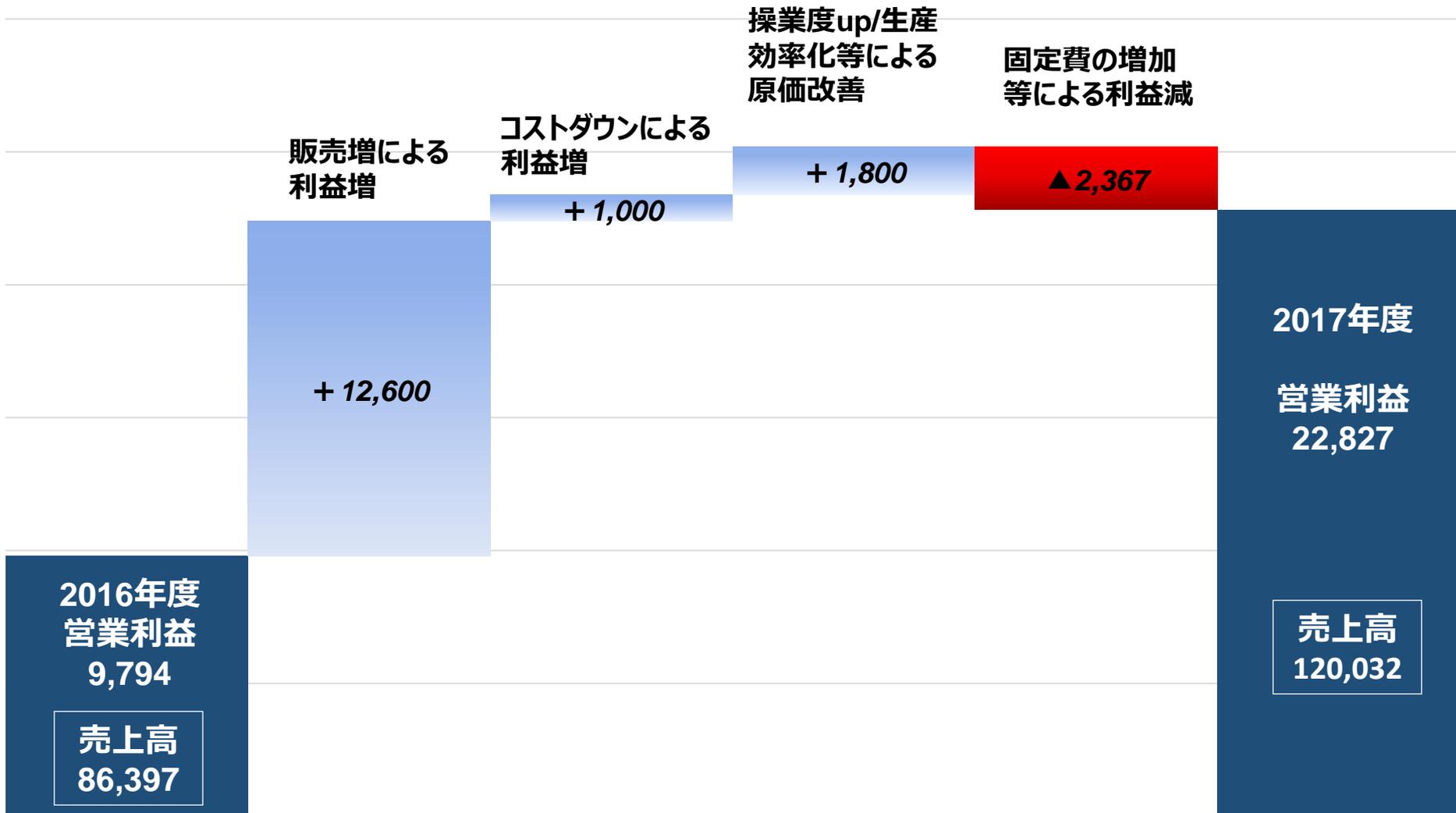


# 連結経営成績

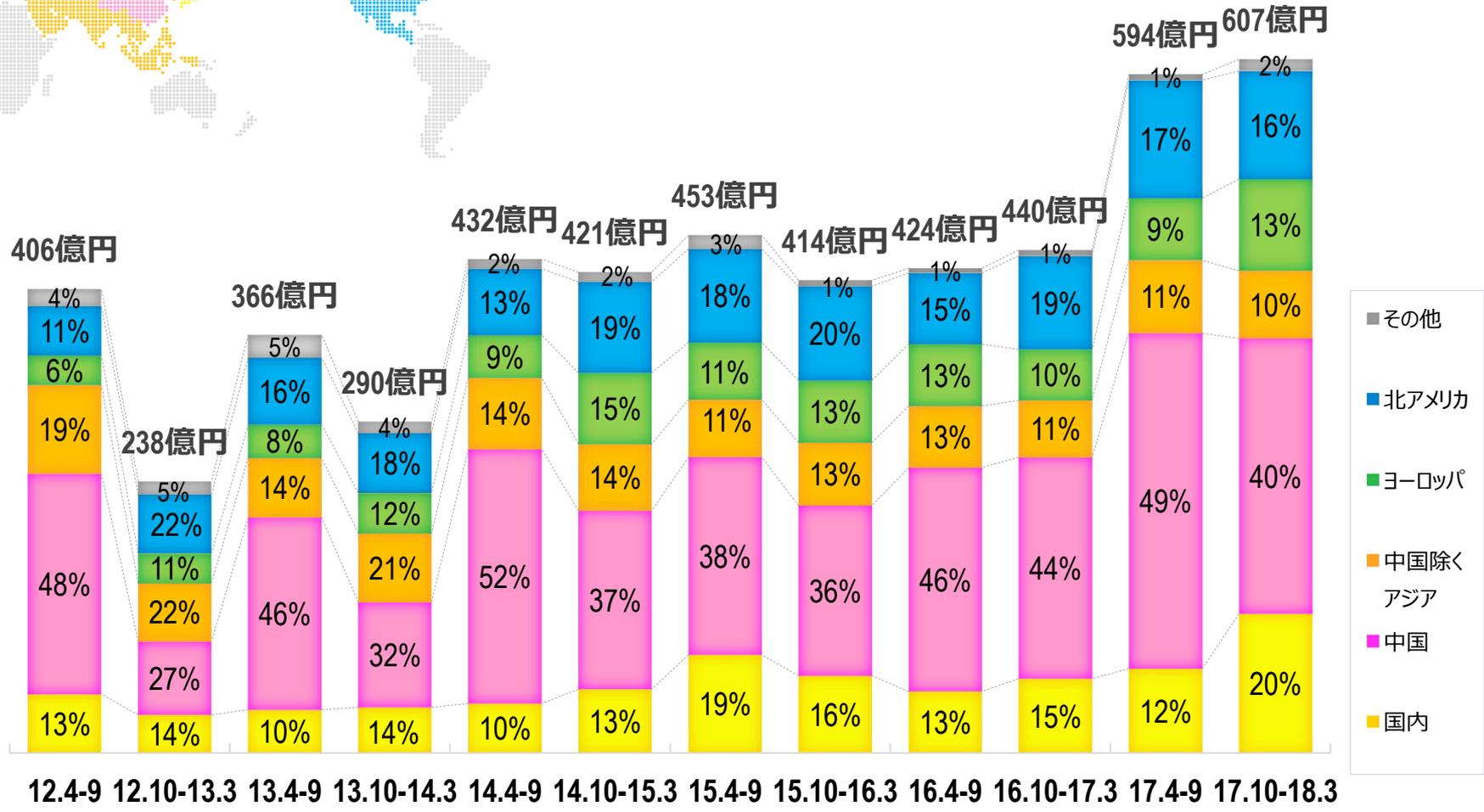
	16.4-17.3実績	17.4-18.3予想 (2018.2.8発表)	17.4-18.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	94,024	117,000	123,539	+29,515 +31.4%	+6,539 +5.6%
売上高	86,397	114,000	120,032	+33,635 +38.9%	+6,032 +5.3%
営業利益	9,794	19,300	22,827	+13,033 +133.1%	+3,527 +18.3%
経常利益	10,200	20,000	23,538	+13,338 +130.8%	+3,538 +17.7%
当期純利益	7,054	14,800	17,523	+10,469 +148.4%	+2,723 +18.4%
					(円)
1株当り 当期純利益	76.19	165.46	195.04	+118.85	+29.58
1株当り 配当金	30.00	40.00	40.00	+10.00	±0

# 営業利益増減分析

(単位：百万円)



# 地域別売上高推移



## セグメント別実績

(百万円)

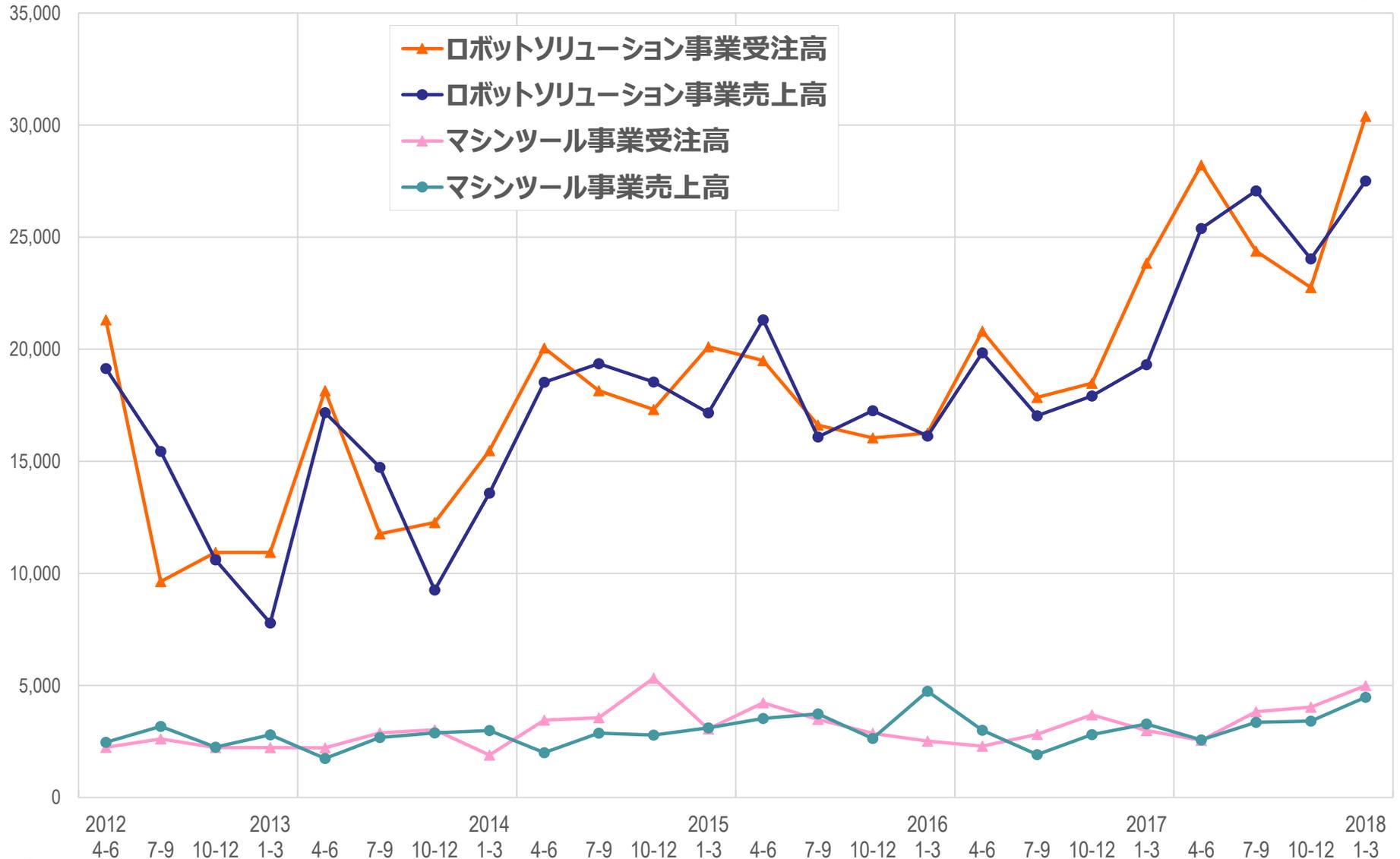
ロボットソリューション	16.4-17.3実績	17.4-18.3予想 (2018.2.8発表)	17.4-18.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	80,981	100,000	105,733	+24,752	+5,733
売上高	74,105	99,000	104,002	+29,897	+5,002
営業利益	14,545	---	25,184	+10,639	---
受注残高	16,187	---	17,918	+1,731	---

(百万円)

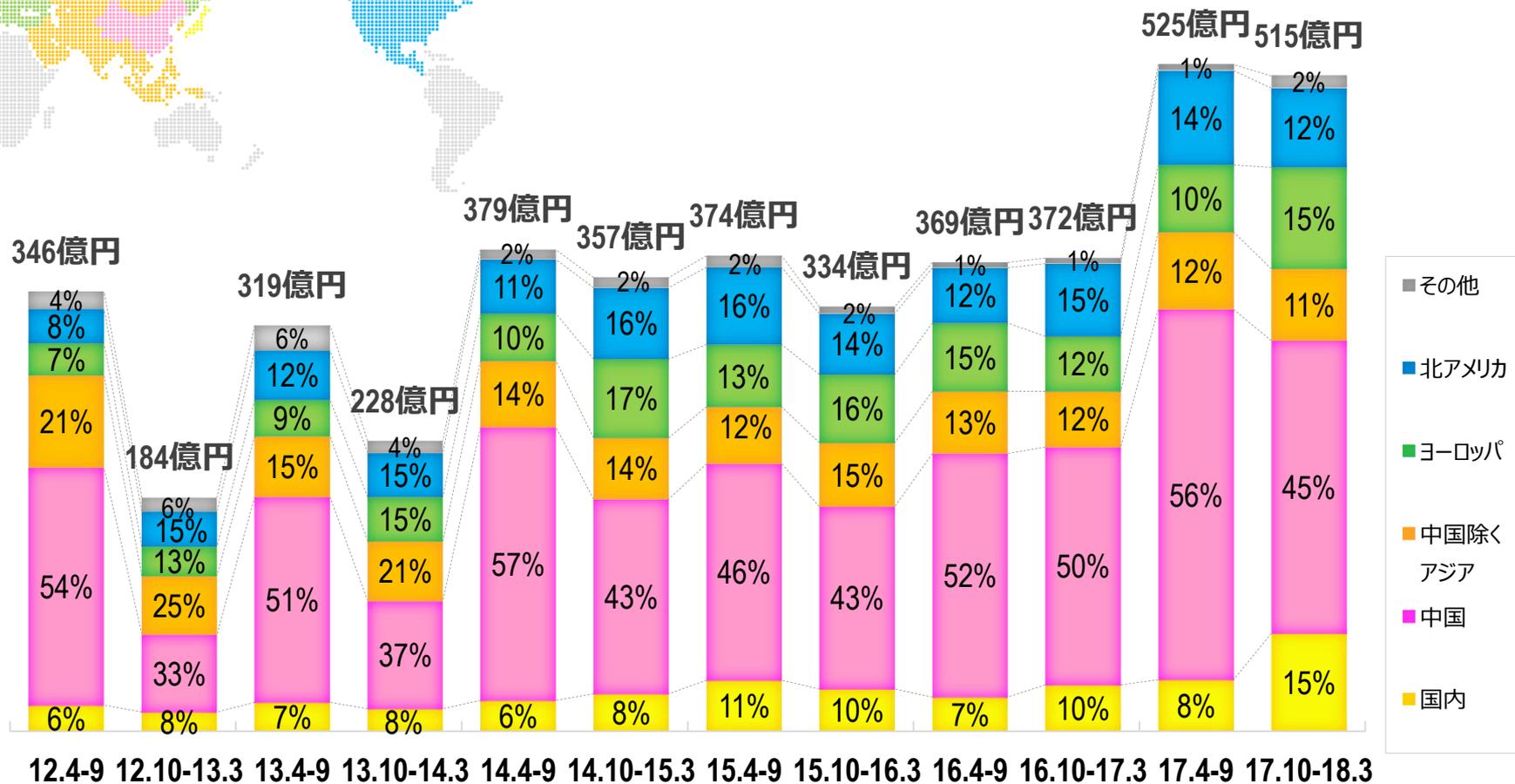
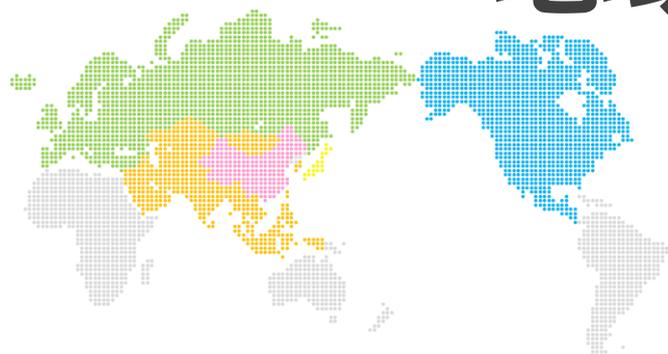
マシンツール	16.4-17.3実績	17.4-18.3予想 (2018.2.8発表)	17.4-18.3実績	対前期増減	対予想増減
受注高	11,776	14,500	15,388	+3,612	+888
売上高	10,997	13,000	13,798	+2,801	+798
営業利益	▲712	---	1,017	+1,729	---
受注残高	7,654	---	9,244	+1,590	---

# 四半期別受注高・売上高

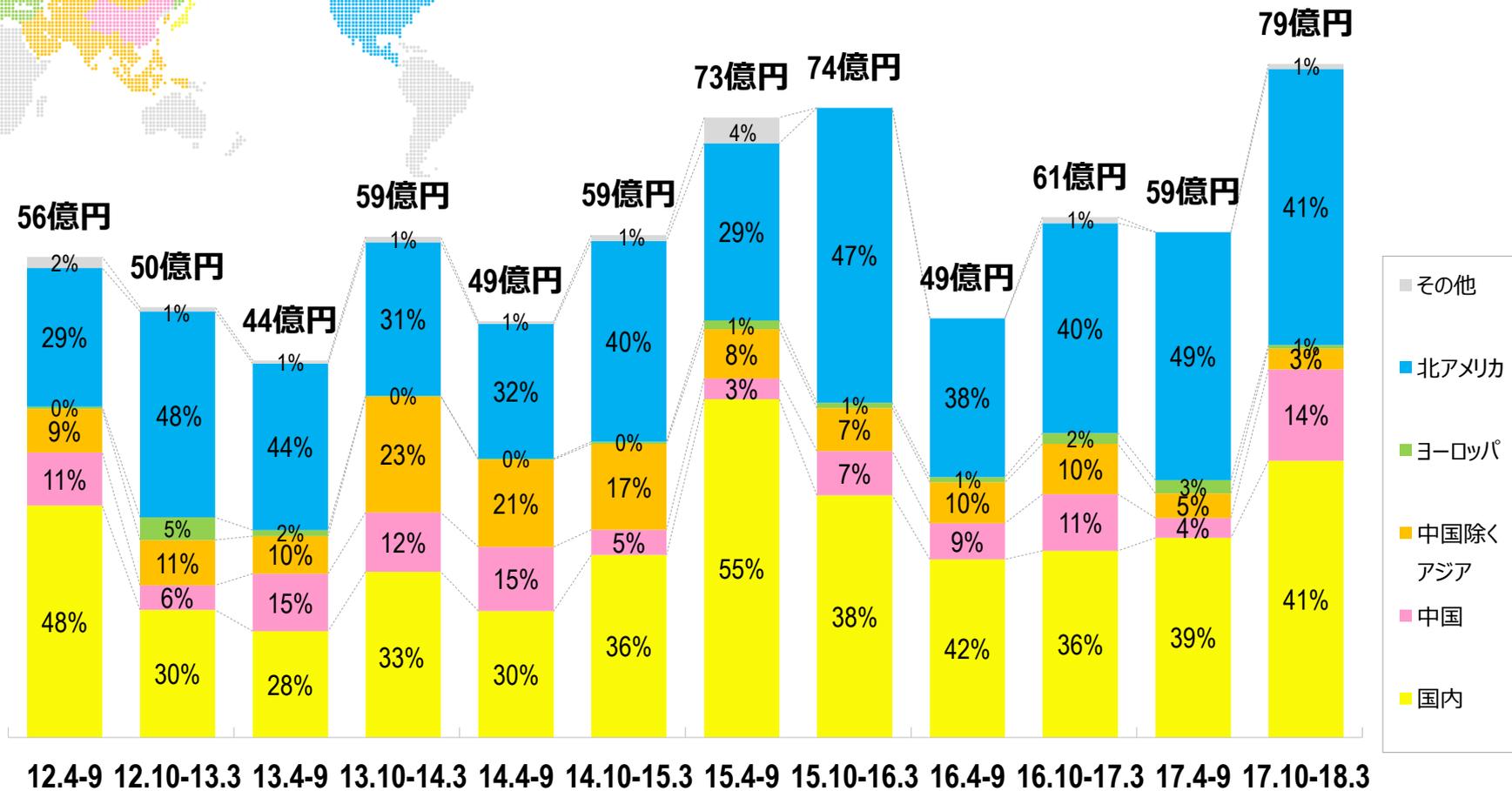
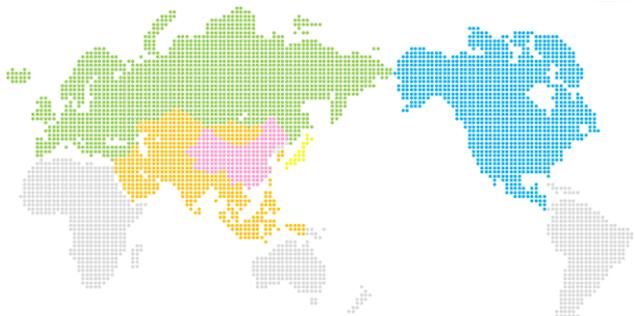
(単位：百万円)



# ロボットソリューション事業 地域別売上高推移



# マシンツール事業 地域別売上高推移



# 連結業績予想

(百万円)

	17.4-18.3実績	18.4-18.9 上期予想	18.4-19.3 通期予想	対前期増減
売上高	120,032	65,000	122,000	+1,968
営業利益	22,827	13,200	23,000	+173
営業利益率	19.0%	20.3%	18.9%	▲0.1%
経常利益	23,538	13,500	23,600	+62
当期純利益	17,523	9,700	16,800	▲723

(円)

1株当り 当期純利益	195.04	106.19	183.92	▲11.12
1株当り 配当金	40.00	25.00	50.00	+10.00

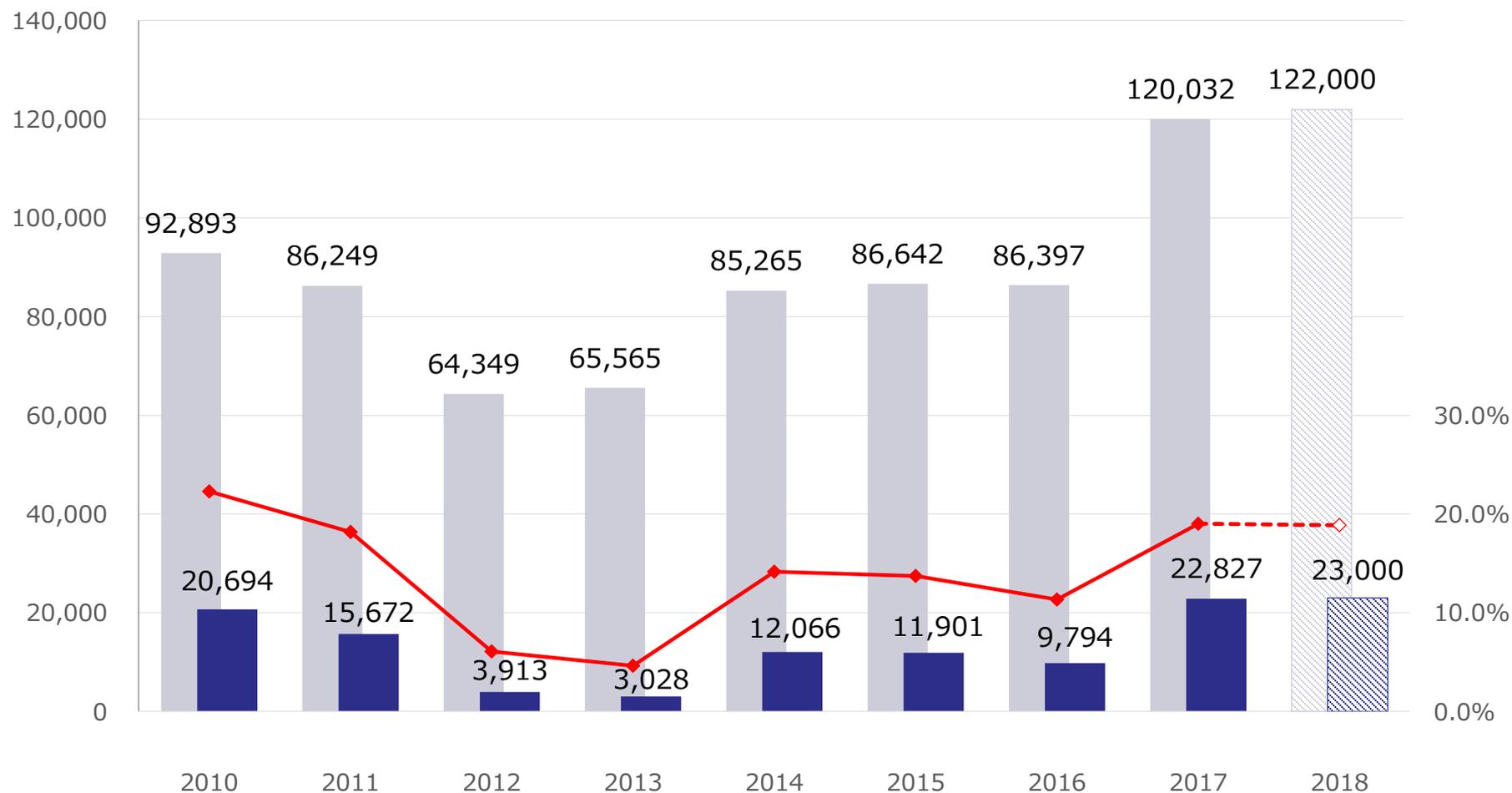
うち記念配：5円

うち記念配：10円

# 連結売上高・営業利益推移

(百万円)

売上高 営業利益 営業利益率



## セグメント別受注・売上予想

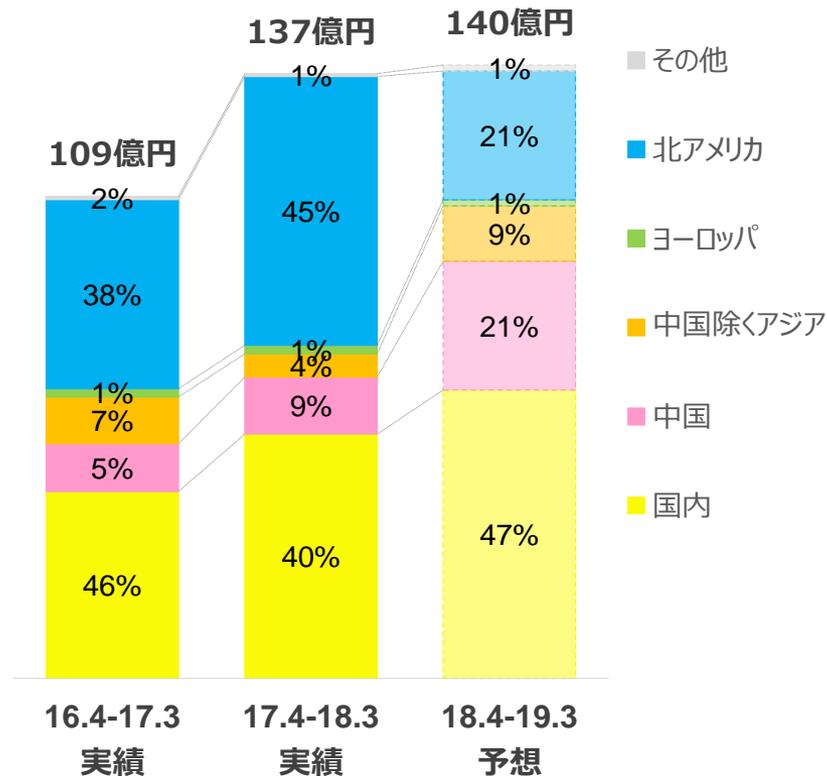
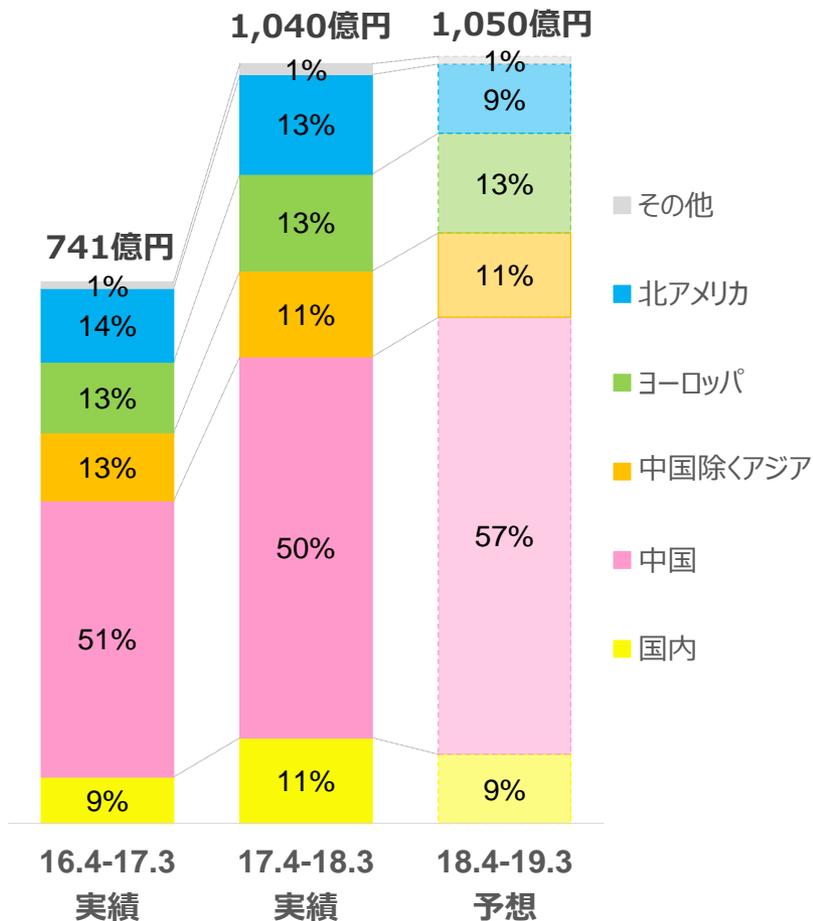
(百万円)

	受注高			売上高			受注残高		
	17.4-18.3実績	18.4-19.3予想	対前期増減	17.4-18.3実績	18.4-19.3予想	対前期増減	18.3実績	19.3予想	対前期増減
ロボットソリューション	105,733	106,000	+267	104,002	105,000	+998	17,918	18,918	+1,000
マシンツール	15,388	15,000	▲388	13,798	14,000	+202	9,244	10,244	+1,000
その他	2,417	3,000	+583	2,231	3,000	+769	322	322	±0
合計	123,539	124,000	+461	120,032	122,000	+1,968	27,485	29,485	+2,000

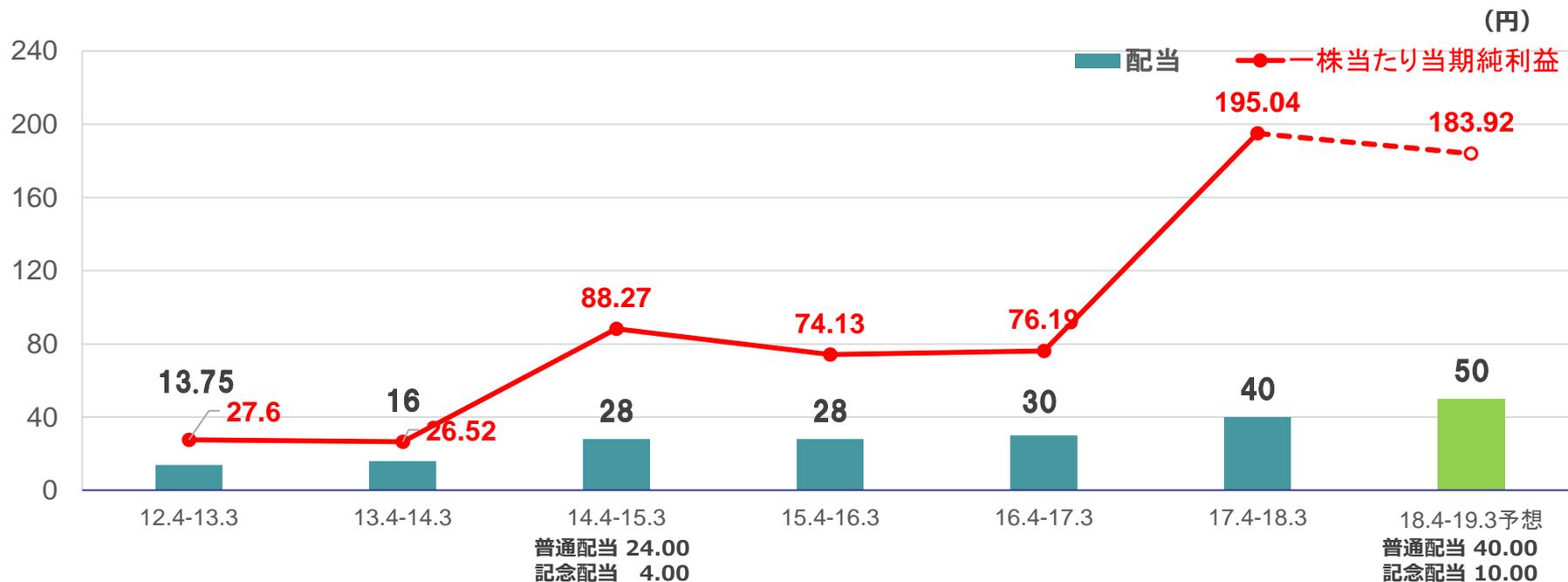
# 地域別売上高予想

## ロボットソリューション

## マシンツール



## 1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	12.4-13.3	13.4-14.3	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3	17.4-18.3	18.4-19.3 予想
配当性向	49.8%	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	39.4%	20.5%	27.2%

注:2013年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

上記では当該株式分割が2012年3月期の期初に行われたと仮定して算出しております。

( ) 普通配当の配当性向

# 中期経営目標（2018～2020）

新しい価値を創造し、名実ともに1,000億円企業を実現

## ロボットソリューション

### 「FUJIブランド30」

- FUJIブランド商品の充実
- 顧客満足度の向上
- 次世代のものづくり改革

## マシンツール

### 「利益の徹底追求」

- 新市場、新商品の売上増
- 販売戦略と連動した機種開発
- 標準化とIoTによる生産性向上

## 新規開発

### 「3rd Impact」

- 新規事業のビジネス化
- イノベティブな新規事業創出
- グローバル知財戦略の強化

## 調達・生産

### 「調達革新2020」

- 調達体制の構築
- 調達システム、物流の革新
- 戦略的コストダウンの推進

## ロボットで未来を拓くFUJI

### 「企業価値向上に向けた全社的取組み」

- ブランド力の強化
- 組織の強化
- 徹底したお客様第一主義
- 独創的な製品のタイムリーな市場投入
- 品質、コストに根ざしたモノづくり力の強化
- 生き生きと働ける夢のある職場づくり



# ロボットソリューション事業

## 『FUJIブランド30』

## 事業部方針

## 事業環境

## ■マクロ経済

- 米国は企業収益の改善により設備投資の回復傾向が続く見通し
- 欧州は景気回復のペースが緩慢にとどまる
- 中国は好景気が続く中、企業の投資マインドが加速
- 日本は引き続き、堅調な設備投資が見込まれる

## ■マウンター需要

- 市場規模：2017年度 約3,100億円(上期1,600億円、下期1,500億円)  
2018年度 約3,000億円(上期1,600億円、下期1,400億円)予想
- 展 望：世界的景況感の改善に伴い、電子機器全般堅調に推移  
次世代通信規格(5G)実用化に向けた通信インフラ設備投資  
IoT加速/クラウドソリューションの拡大  
自動車の電子化推進(安全対策、情報処理、燃費向上…)

# ロボットソリューション事業

## 事業戦略

### 『マーケットシェア30%確保』

#### 営業

- ▶ 成長市場(車載、スマート機器関連)顧客の獲得
- ▶ SMT前後工程市場の攻略
- ▶ トータルソリューション提案の強化

#### 開発

- ▶ 新機種の市場投入
- ▶ 現行製品の品質向上
- ▶ Smart Factory実現に向けた統合生産システムNeximの機能向上

#### 生産

- ▶ 標準化の徹底
- ▶ IoTを活用した物流改革
- ▶ 自動化、省人化の追求

# ロボットソリューション事業 主要製品

NXT-H



高精度生産に対応

NXT  
Fuji Scalable Placement Platform



AIMEX III  
AIMEX III C



変種変量生産に対応

## 電子部品実装ロボット

電子部品装着機

スマートファクトリーを  
実現するキーシステム

Nexim

統合生産システム



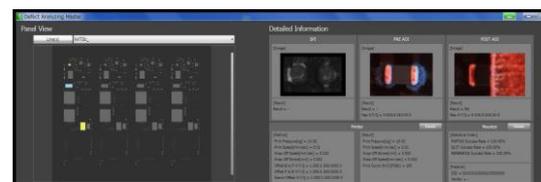
汎用組立機

Smart FAB

# Smart Factory 構想



ライン全体  
進捗・稼動・品質  
モニタリング&分析



自動倉庫



Nexim



印刷機フィードバック制御

マウンターフィードバック制御

ライン全体自動段取り替え

# ひろがるFUJI SMTネットワーク



各社装置と連携し、品質、生産性の更なる向上へ

# 工場の拡張

## -2018年3月30日完成 岡崎工場

### 完成図と概要



新工場名：第3工場

工場完成：3月30日（金）

稼動開始：3月31日（土）

延床面積：5,994 m<sup>2</sup>

敷地面積：10,585 m<sup>2</sup>

リニューアル

海外拠点 ~ヨーロッパ~

# FUJI EUROPE CORPORATION GmbH

## 拠点名変更と社屋移転



稼動開始 : 4月1日 (日)

延床面積 : 3,390 m<sup>2</sup>  
(参考情報 旧オフィス : 2,000 m<sup>2</sup>)

敷地面積 : 10,600 m<sup>2</sup>

# マシンツール事業

## 事業部方針

### 『利益の徹底追求』

## 事業環境

■国内外共に景気は堅調に推移する（日工会）

◆2017年(暦年)受注実績:1兆6,456億円

◆2018年(暦年)受注目標:1兆7,000億円

## 事業戦略

『3(販売・技術・生産)×3(豊田工場・昆山富士・FMAC)  
を活かしたエコシステムの構築』

～リソースを有効活用し事業価値の向上～

### 営業

- ◆ 売上拡大と販売地域割合の改善
- ◆ 3×3を強みに営業力強化

### 開発

- ◆ 販売戦略と連動した商品開発
- ◆ 新市場を視野に入れた開発

### 生産・ 機械加工

- ◆ 生産意識改革
- ◆ 計画生産・出荷

# マシンツール事業 主要製品



CSD300

正面2スピンドル旋盤



TN400R

横型NC旋盤



DLFN

モジュール型生産設備

## -2019年3月完成予定 豊田工場

### 完成予想図

延床面積：23,000㎡



# もっと、広いフィールドへ。

物流・  
ECマース関連



介護業界



軽作業関連



プラズマ関連



高精度・高生産性・低衝撃

平成28年度 全国発明表彰  
文部科学大臣賞 受賞

小型モジュール式電子部品実装装置の発明

高精度・高生産性  
ミニチュアファクトリー

# 移乗サポートロボット Hug 新機種販売開始

## 在宅介護向け移乗サポートロボット「Hug L1」



- コンセプト いつでも、誰でも、手軽に、ロボット介護を実現
- 販売形式 レンタル（買取も可能）
- 介護施設向け「Hug T1」との違い
  - ①コンパクト・軽量化により在宅環境に適合
  - ②在宅向けの価格帯にてご提供
  - ③立つ・座るの2つのボタンでシンプルな操作性
- 直近出展展示会 2018年4月19日～21日  
バリアフリー2018（インテックス大阪）
- 取得予定コード TAISコード（福祉用具貸与のため）

# 現代版寺子屋「teracoya THANK」

THANK:東海道39番目の宿場町『池鯉鮒宿』



## 『2017グッドデザイン賞受賞』

- ・グローバル人材、理系人材の育成  
～科学の実験を英語で～
- ・2時間半の預かり（内90分授業）
- ・プログラム学習を4月より追加
- ・小学生＋4月より未就学2年児童

# 成長戦略

ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・  
ロボットシステム等  
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



工作機械

(ロボット搬送システム)



電子部品実装ロボット

(ロボティックマウンター)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

解析技術

コアテクノロジー

ビジョン  
技術

モーション  
コントロール  
技術

ソフトウェア・リニアモーター等  
自社開発等

効率的な資金活用による迅速な施策実現

販売力強化

研究開発

M&A

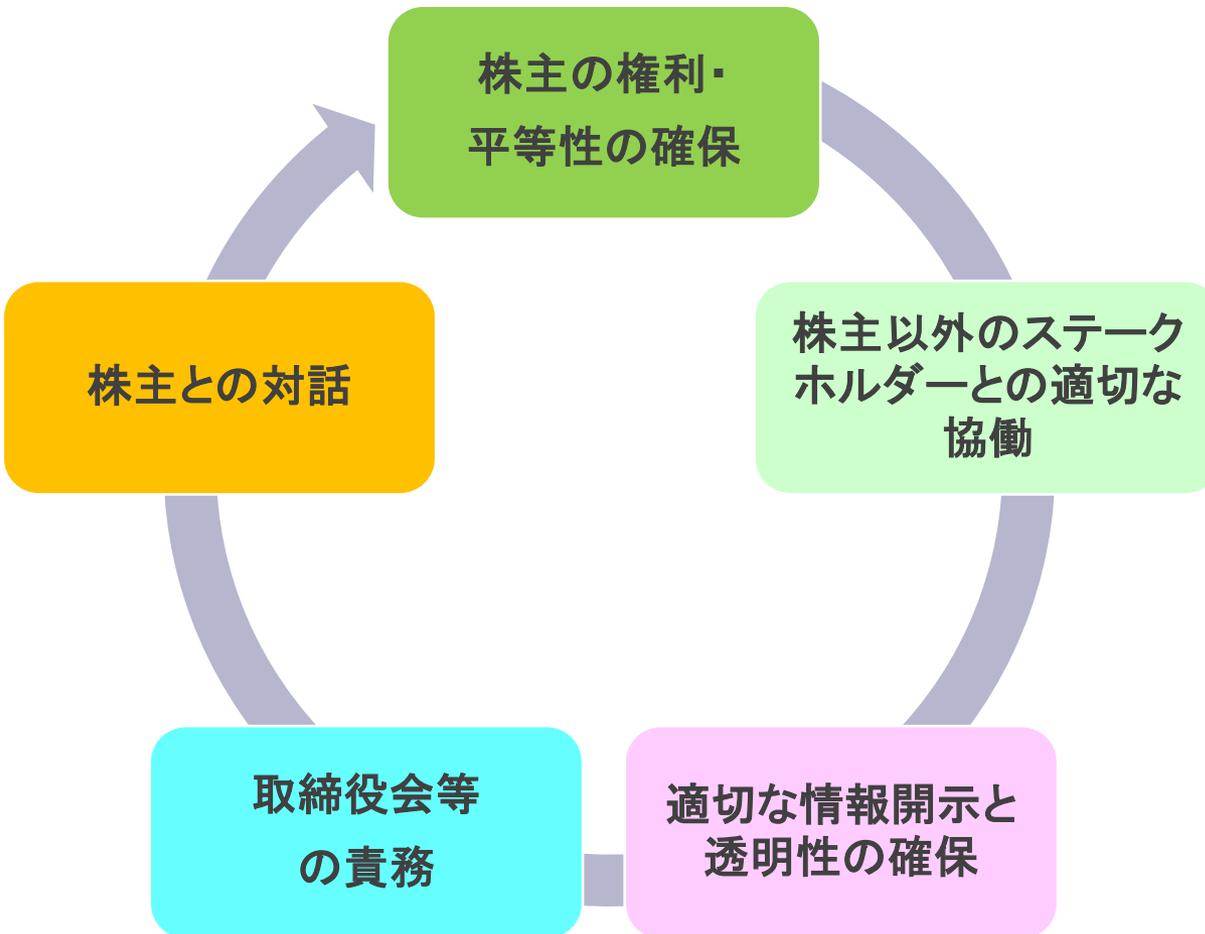
技術提携

モノづくりアライアンス

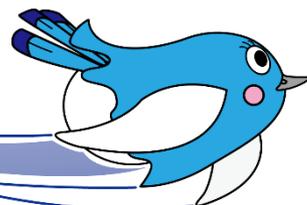
資本参加

# コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、  
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
  - ・英文開示の充実
  - ・招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
  - ・女性の活用を含む社内の多様性の確保
  - ・取引先・地域社会との絆
  - ・生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
  - ・コーポレートガバナンス報告書等への開示
  - ・ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
  - ・取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
  - ・独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
  - ・IR説明会開催、SR面談の随時対応



# FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI